



「なんでもない日々」の大切さ

校長 立部 剛

東日本大震災発生から11年が過ぎました。私にとってはつい最近の出来事のように思っていますが、すでに10年以上も時間が経過していることに時の流れの早さを感じます。しかし、死者、行方不明者、震災関連死を合わせて、2万人を超える方々が犠牲となったこの未曾有の災害は決して風化させてはいけないことだと感じますし、機会を捉えて子どもたちにも語っていききたいと思えます。

コピーライターの糸井重里さんと平了さんによる震災についての対談の中に、次のような一節がありました。

3月11日を忘れないように、ということは、よく言われます。
しかし、その日は、忘れないようにする日ではなく、忘れられない日です。
忘れたいのに忘れられない日が3月11日です。
いちばん忘れちゃいけないのは、なんてことない、ほんとうになんでもない日々です。

幸せだったはずの、前の日なんじゃないかと思えます。(https://www.1101.com/schopdan/)

そして今、私たちが直面しているコロナ禍。災害とパンデミックの違いあれ、上の対談にある「なんでもない日々」について改めて考えるきっかけになっています。なくなってはじめて気づく当たり前の日常の大切さを感じざるを得ませんし、それだけに、様々な制約があるとはいえ、今過ごしている毎日の生活を大切にしていかなければと、改めて思えます。

さて、いよいよ3月。今年度の最後の月を迎えます。進級・卒業に向けて、まとめの月となります。



1・2年生は、進級という次のステージが目の前です。その前に、今の学年での学校生活をプラスに振り返ることができるよう、学年や学級を通しての働きかけを行っていききたいと思います。2年生は、3度延期となった修学旅行を再度実施する準備ができました。無事に実施でき、今年度のよい思い出となるよう祈るばかりです。

3年生は、卒業式が目の前ですが、その前に公立高校の入試が迫ってきました。最終的な出願倍率も発表され、すべての手続きが終わった今、こうした数字に心を乱されてはいけません。まずは、体調管理。万全な健康状態で臨めるよう各家庭でも十分ご留意ください。そして、子どもたちが、自分を信じて、中学校での3年間を信じて、最後のハードルを越えていけるよう支援をしていききたいと思います。3年生なら大丈夫！きっと暖かい春が来ることを念じたいと思います。3年生の保護者のみなさん、あともう少し、一緒に子どもたちを支えていきましょう！



鹿児島学習定着度調査結果より

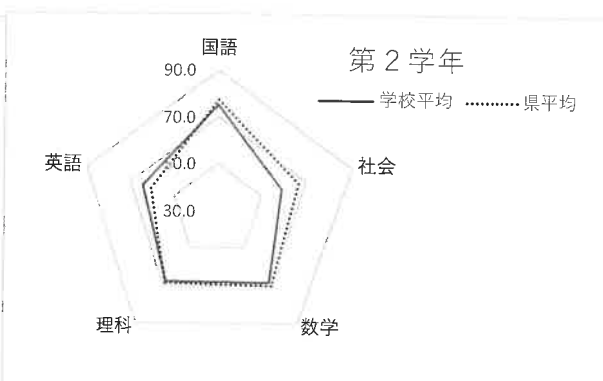
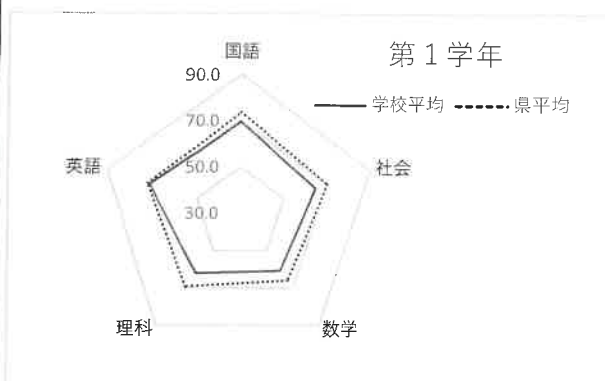
この調査は、県教育委員会が本県の児童生徒の学力や学習状況を把握するとともに、各学校が授業をはじめとする学習指導の改善に役立てることを目的に、小学5年、中学1・2年を対象に実施しているものです。

裏面に今年度の本校の結果を掲載しました。学校では残された1か月間に補充指導等に取り組み、課題解決を図った上で、進級するよう指導するとともに、私たち教師にとって最も大切な毎日の授業の改善に、継続して取り組んでいきます。

併せて、学校から家庭にお願いしたいのは、毎日の家庭学習の習慣化です。日々の家庭学習の充実が必要であることは、前号で紹介しました学校評価からも伺えました。帰宅後や休日の生活のリズムを整え、地道な学習の積み重ねが継続できますよう、子どもたちへの働きかけをお願いいたします。

鹿児島学習定着度調査

～1月18・19日～



市中学校学力向上プログラム授業公開

～2月22日（火）5校時体育館で吉田教諭による1年3組の英語の授業を行いました。～



授業後は、県教育総合センター真正研究主事とオンラインで授業改善に向けた職員研修を行いました。鹿児島学習定着度調査の結果を踏まえ、授業力向上に取り組みます。

【3月の主な行事】

- ・3/3～4（木～金） 県公立高校入学者選抜
- ・3/7～9（月～水） 2年生修学旅行（県内1泊3日）
- ・3/11（金） キャリア教育講演会（宮井紀行氏）
- ・3/12（土） 土曜授業
- ・3/15（火） 第55回卒業式
- ・3/17（木） 2年生クラスマッチ
- ・3/18（金） 1年生クラスマッチ
- ・3/25（金） 修了式 大掃除 辞任式
- ・3/28（月） 新入生物品販売



柳 留美 事務補におかれましては、電話対応やPTAとの連絡調整、会計など多くの業務を引き受けてくださいました。この度、令和4年2月28日をもってご退職となります。これまで大変お世話になりました。ありがとうございました。

今まで
ありがとう
ございました!